

### 第3回秦野市廃棄物対策審議会概要

1 日 時 平成27年6月25日（木）午後1時30分～午後2時50分

2 場 所 秦野市役所本庁舎4階議会第1会議室

3 出席者 12名（欠席者2名）

東海大学教養学部人間環境学科特任教授 原田 一郎 氏

東海大学教養学部人間環境学科准教授 小栗 和也 氏

東京地方税理士平塚支部 草山 美博 氏

秦野市商店会連合会 中島 正彦 氏

神奈川県宅地建物取引業協会

湘南中支部秦野地区 郡司 文夫 氏

秦野市自治会連合会 前田 弘和 氏

秦野市PTA連絡協議会 中津川恭子 氏

秦野市農業協同組合 小泉 裕子 氏

秦野市食生活改善推進団体 古谷 典子 氏

公募市民 小林 裕子 氏

公募市民 大塚満津子 氏

公募市民 松岡 守 氏

#### 4 会議概要

##### (1) 人口とごみの将来予測について

###### ア 委員からの意見1（資料3-3の4ページ）

平成27年度は、クリーンセンターの処理能力 33,600 トン（秦野市分）と伊勢原清掃工場 90 トン炉の処理能力 15,120 トン（秦野市分）で処理できていますが、平成30年度にはどうなりますか。

###### イ 意見1に対する事務局からの回答

現在は、クリーンセンターと伊勢原清掃工場の 90 トン炉の処理能力で処理できていますが、平成27年度に耐用年数を迎える伊勢原清掃工場 90 トン炉のメンテナンスを行い、平成30年度まで使用する予定です。

しかし、平成30年度に 90 トン炉の使用を停止した場合、現在のごみ排出量の推計値では、クリーンセンターのみでの処理は難しい状況となるため、早急にごみの排出量を削減する必要があります。

(2) 事業系ごみの減量、資源化策について

ア 委員からの意見 2 (資料 3 - 4)

多量排出事業者が提出するごみ排出量の計画値は、どのように算出しているものですか。

イ 意見 2 に対する事務局からの回答

事業者が前年度の実績等から計画値を算出しています。

ウ 委員からの意見 3

事業者が任意で算出する目標であれば、計画値を高く設定する事業者もあるので、発生量の計画値に対して実績値が超えているというだけでは、判断できないので、実際に処分した量により、判断する方がよいと思います。

エ 委員からの意見 4

この計画は、どのくらいの頻度で提出するものですか。

オ 意見 4 に対する事務局からの回答

前年度のごみ排出量の実績が、月平均 2 トン以上の事業者が多量排出事業者に該当し、その多量排出事業者は、年に 1 度ごみ排出量の計画量と実績量を提出しています。

カ 委員からの意見 5

クリーンセンターで年 1 回実施している抜き打ち検査とは、どのようなことをしていますか。

キ 意見 5 に対する事務局からの回答

クリーンセンターに搬入してくる収集運搬業者の積荷を検査し、他市町村のごみや焼却不適物が混入していないか、また積載量は適切かといった検査をしています。

ク 委員からの意見 6

収集運搬業者を検査して、排出事業者への指導となりますか。

ケ 意見 6 に対する事務局からの回答

直接的ではありませんが、収集運搬業者がどの事業者の運搬をしているのか書類で確認できるため、そこから排出した事業者への指導につなげています。